

総探通信

自分自身の
在り方生き方を

探れ。
探究プロジェクト
岡部 晴菜

第2号
令和3年
12月23日

中央の総探って、実は「Sakura Time」って名前がついているの。だから総探のこと「Sakura Time」って
言っちゃおうだい♪

2学年「学問探究」発表会

12月2日(木)2学年発表会が行われました。4名の発表を紹介します。どんな視点で仮説を立てているのかな？
どうやって検証しているのかな？今まさに総探で迷ったり悩んだりしているあなた、必見です。

①テーマ ②課題発見 ③仮説 ④検証・考察 ⑤今後の探究

23HR 喜多島 悠暉 さん

- ①アルギン酸ゲルと光触媒の合成による酸化還元反応の効率化の探索
- ②昨今の新型コロナウイルスの蔓延により、光触媒作用が注目されている。光触媒材料の可能性を上げたい。
- ③光触媒とアルギン酸ゲルを合成させることで、光触媒を固定化し、使い勝手をよくでき、かつ酸化還元反応の効率化を検討できるのではないかな？
- ④ビーズ状材料、フィルム状材料を作成し、光触媒作用が確認されるか評価した。また材料作成における最適条件を探索した。結果としては、光触媒活性がみられ、最適条件下では実験に用いた溶液を90%ほど還元できた。また、太陽光に対する活性評価も調べたところ、十分な光触媒作用がみられ、最適条件下では、三日ほどでほぼすべて還元することができた。しかしフィルム状材料はビーズ状材料と比べて大きく劣る結果となった。ビーズ状材料は溶液がビーズ内に入り込み、そこで反応が進行するが、フィルム状材料の場合、表面のみで反応が進行するため、結果が劣ったと考えられる。
- ⑤フィルム状材料でも、十分な光触媒作用が発現できるよう、条件を探索する。また、試料にエタノールを添加することで、試料が自己駆動することがわかった。このことは試料自らが溶液を攪拌することにつながるため、これに用いる最適エタノール濃度を探索する。

25HR 柳原 日菜 さん

- ①性的マイノリティに関する差別・偏見を解消しよう
- ②国内に一千万人近く当事者がいるとされている現在でも差別待遇などが絶えず、世論でも差別・偏見があると考えの人が絶えない現状である。
- ③保護者の性的マイノリティに対する認識を変え、子どもに否定的な教育をしないようにするために、視聴してくれた人が親近感を持てるような講話動画を保護者に見てもらうことが有効ではないかな？
- ④県内の当事者団体「スクランブルエッグ」に、視聴する人が性的マイノリティの人に対して、親近感を持てるような講話動画作成の協力を要請する。その動画を母校の中学校にお願いして保護者に視聴してもらい、アンケートを実施することで視聴前後の意識の変化を調査する。団体には協力の承諾を得られたものの、母校での協力は得られなかった。まだ伺ってはいないが、母校で承諾を得られなかった理由は、保護者からの批判が懸念されたからではないかと考えた。
- ⑤今回の結果を踏まえて、動画配布が実現に至らなかった理由を調査する。また、公的な組織である教育委員会に、性的マイノリティの人に対する認識について、現在各学校においてどのような指導を行っているか、また今後の対策などについてお話を聞き、私が提案した仮説についても意見を伺いたい。それを踏まえて各学校に受け入れてもらえるような方法を考えたい。

なんだかむずかしいことしてるな~と思った理系諸君。理・工・農学部の探究は基礎となる学力が必要不可欠！知識がなければ未知の課題に挑むことはできません！ところで、研究っていったら大学だと思うでしょ。実は民間企業もしのぎを削って研究しています。「下町ロケット」っていうドラマ見た人もいるかな？課題を持つ・やってみる・さらに進化させる、がよく分かります。実際にいろんな企業のHP見てみて！探究のカギがたくさんあるから！



問題♪この探究テーマ、どのSDGsが関係しているでしょう？



マイノリティの人々が生活の質を得ることは基本的人権。そして、少数派の境遇を多数派が理解することは平和と公正が実現されるために必要。



1年生は村上さんの講演覚えてるかな？SDGs達成の答えなんてどこにもないけど、みんなが解決に動かなきゃいけないよね？知らないふりする大人になんてたくないよね。村上さんが特別なんじゃない。当たり前にならなきゃいけないんだと思うよ。

26HR 山本 結生 さん

①音楽的なものの見方・考え方

②中学校学習指導要領で、生活や社会の中の音楽と豊かに関わる能力を育成するために、『音楽的なものの見方・考え方』を働かせると設定されていた。私は音楽的なものの見方・考え方を働かせることで、音楽の価値を見出す力を育むことができ、社会に出たときに音楽以外のものにも価値を見出すことができるようになるのではないかと考えた。

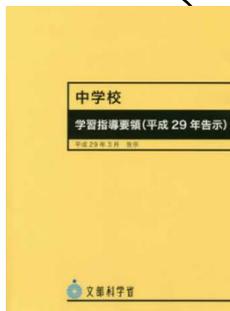
③中学校の音楽教育で『音楽的なものの見方・考え方』を養うと、ものの価値を見出すことができるようになるのではないかと？

④「英雄ポロネーズ」というピアノの独奏曲を題材として、2人のピアニストの演奏を比較するスライド30枚程度のピアノ鑑賞の授業案を作成した。そして10人の方に授業を受けてもらい、(1)「英雄ポロネーズ」という曲についてどう思ったか？(2)2人の演奏で気が付いたことは何か？(3)「ピアノ鑑賞」の授業についてどう思ったか？という3つの項目についてアンケートを実施した。しかし、質問の内容が抽象的であったため、この結果から仮説を明確に立証することはできなかった。また、音楽の面白さを知ってほしい！という気持ちから、情報量が多くぼやけた授業になってしまい、音楽の価値を見出すことができる授業を展開できなかったと気付いた。焦点を絞り一つの内容について深く考察する授業展開がその音楽の価値を見出すのに有効ではないかと考えた。

⑤今回の考察を生かして、例えばムソルグスキー作曲の組曲「展覧会の絵」を題材として音楽と他の芸術との関わりを理解する授業や、アメリカ・ルイジアナ州ニューオーリンズでアフリカ系アメリカ人によって生み出されたジャズを取り上げ、他国の文化・歴史的背景について関心を持つ授業を行うことで、仮説立証を進めていきたい。

そっか～、音楽の先生になりたいんだね。

実は、学校で教えるにあたって細かいルールが国で決められているんだよ。「学習指導要領(右図・ネットで閲覧可)」って言って、指導内容や生徒にどんな力を身につけさせるかが明記されているもの。探究では学習指導要領の記載内容を踏まえて実際の授業を作ってみたんだね。でも、仮説立証のアンケートがうまくいかなかったり、授業自体に課題を見つけたのか～。まあ、学校の先生なんて日々これの繰り返しだけど(汗)。新たな授業でさらに探究を深めてブラッシュアップしてください。そして、進路、実現するといいね！



22HR 舘山 春愛 さん

①アダルトチルドレン(AC)と産後うつ病の関連性について

②ACへの関心と助産師になるという夢に繋がる探究をしたいと思う中で、ACと産後うつ病との関連性に着目した。ACとは？女性の約10人に一人が発症するといわれる産後うつ病の症状とは？どのような人が発症しやすいのか？を探究発表会を通して男女ともに広く認知させたいと考えた。

③機能不全の家族で育ち、ACの傾向を持った人は産後うつ病を発症してしまう可能性が高いのではないかと？

④まず産後うつ病とACそれぞれをマインドマップで細分化し、共通するキーワードとして「愛着形成」「自己犠牲」に着目した。ACの特徴である自己犠牲の精神が芽生えることで、親となって子育てをする中で自分を限界まで追い詰めるのではないかと。また愛着形成が不十分であることも相まって、結果として産後うつ病の発症確率が高くなるのではないかとという考えに至った。そして助産師の方にお話を伺うと、責任感が強く自己を犠牲にして子育てを最優先にする方もたくさんいる、自身の親との愛着形成が不十分で子をうまく愛せない、どう接していいかわからないといった方がいることを知り、やはり自己犠牲・愛着形成の観点からACと産後うつ病には関連性があるという考察に至った。

⑤産後うつ病をはじめとする助産学について、探究を機に見えてきた、新しい命が芽生えることの奇跡や尊さのほかに、つわりや出産、その後も続く育児など大変さや辛さについて男女ともによく理解すべきだと感じ、包括的性教育推進の重要性に気付いた。性への関心の年齢・性別による変化や、望まない妊娠・人工中絶の背景など多方面から調査し、性教育実施の適正年齢について他国との比較も交えて探究したい。

ACと産後うつ病について探究するうちに性教育実施の重要性にたどり着いたんだね。確かに、日本ってタブーなイメージが強いけど避けてはいけないことだよ。そういえばこの前、私(岡部)が本屋さん行ったら、児童書コーナーにありましたよ！児童用の性教育本が！逃げも隠れもせず、ちゃんと書かれていました。学校現場でどう教育するかは大きな課題もあるかもしれませんが、でも学校外で性教育推進のために動いている大人もたくさんいます。きっと私たちも試行錯誤しながらあの手この手で性教育推進に注力していきましょう。まさに探究です。

